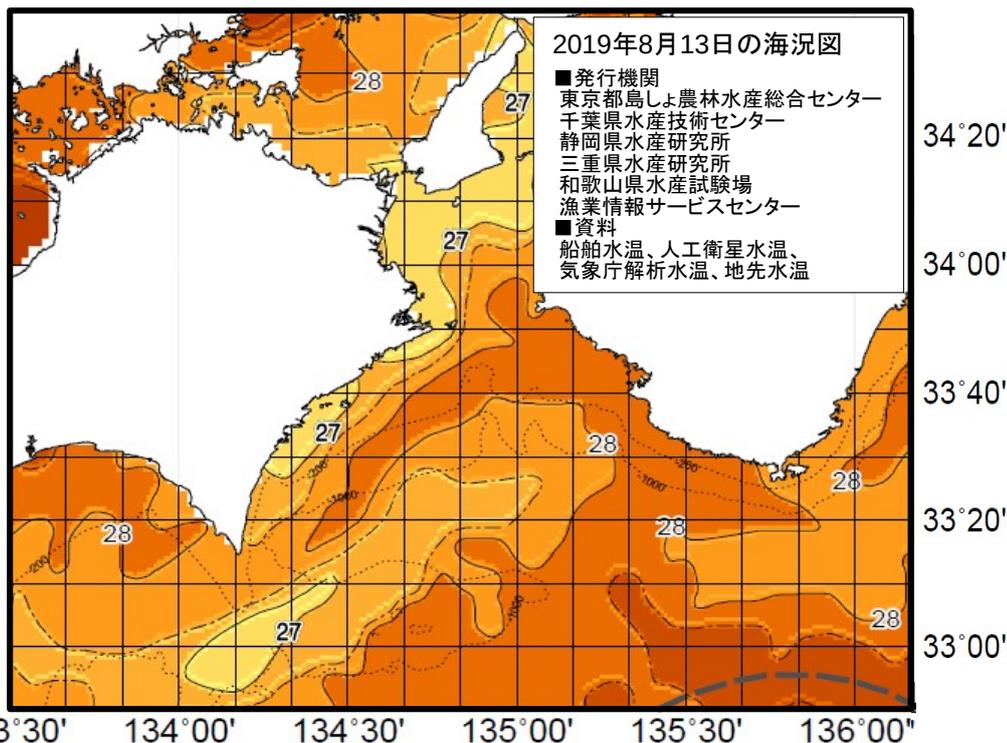


海況

1. 周辺海域の水温(8月7日～8月13日)

室戸岬沖から潮岬沖で黒潮の屈曲部が不規則に移動しており、室戸岬沖では9日頃まで「離岸」となっていたが13日現在「著しく離岸」、潮岬沖では9日頃まで「離岸」～「著しく離岸」で推移していたが13日現在屈曲部が沖合43NM程まで接近して「やや離岸」となっている模様。この影響で、和歌山県側から海部沿岸に反時計回りの暖水波及がみられる。

13日現在の徳島沿岸の海面水温は26℃～27℃台、黒潮の表面水温は28℃～29℃台となっている。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸:～25NM やや離岸:25～45NM 離岸45～65NM 著しく離岸:65NM～
潮岬沖 接岸:～26NM やや離岸:25～56NM 離岸56～86NM 著しく離岸:86NM～

(いずれも正南方向)

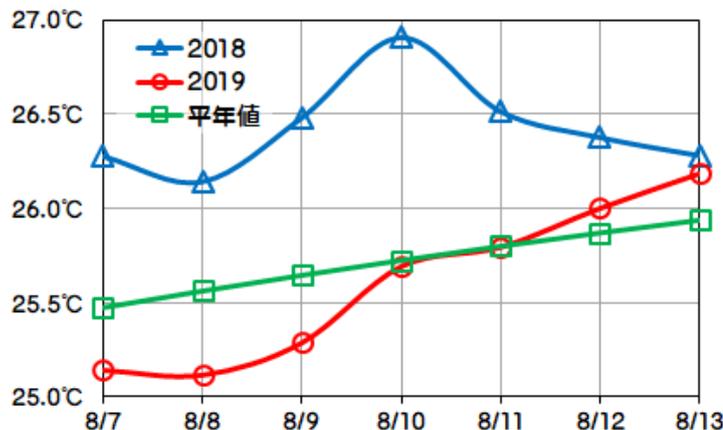
海況図は、平日夕方に水産研究課HPの「地先水温情報」のページに、直近4日分を掲載しています。

2. 地先水温(8月7日～8月13日)

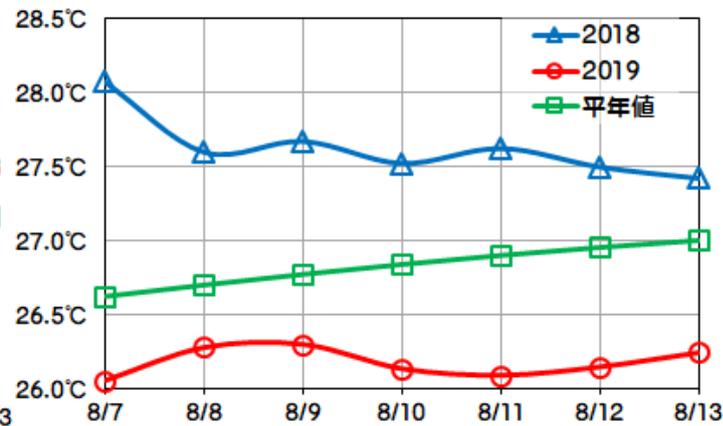
鳴門地区の水温は、前週に引き続き「平年並み」で、25.1～26.2℃で推移した。

日和佐地区の水温は前週からほとんど上がらず、「やや低め」～「平年並み」の26.1～26.3℃で推移した。

鳴門地区



日和佐地区



※水温の高低 平年並み: 平年値±0.5℃未満, やや高め/やや低め: 平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め: 平年値±1.5℃以上2.5℃未満, かなり高め/かなり低め: ±2.5℃以上

※平年値 1984年～2018年の平滑平均値

3. 週間予報(8月14日～8月20日)

黒潮は、室戸岬沖では「著しく離岸」～「離岸」、潮岬沖では「やや離岸」～「著しく離岸」で不規則に変動する見込み。

地先水温は、鳴門地区は「平年並み」～「やや高め」、日和佐地区では台風の影響などで「やや低め」で推移する見込み。

台風8号及び10号の影響で出漁隻・日数が少なく、特に海部沿岸で水揚げが大きく落ち込んだ。

1. 紀伊水道（標本漁協：3）

船びき網では、シラスが減って56.3ト水揚げされた。

釣りでは、タチウオが0.5ト、イサキが大きく減って0.2ト水揚げされた。

延縄では、ハモが7.3ト、タチウオが大きく減って特大主体に1.2ト、サワラが大きく減って0.5ト水揚げされた。

小型定置網では、マアジが小小主体に0.5ト、アイゴが大きく増えて0.4ト、イサキが大きく減って大主体に0.2ト、カンパチが0.2ト、ブリが減ってはまち・めじろ級に0.2ト、マダイが増えて0.1ト水揚げされた。

底びき網では、ハモが増えて10.6ト、マダイが増えて大主体に0.2ト、えそ類が0.2ト水揚げされた。

2. 海部沿岸（標本漁協：4）

釣りでは、タチウオが減って0.7ト水揚げされた。

延縄では、アカムツが大きく減って0.2ト水揚げされた。

小型定置網は、操業はあったものの、まとまった水揚げはみられなかった。

漁獲量集計表（漁獲が0.1ト以上のものを抜粋）

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	75	シラス	56,250	750		↘
	釣り	21	タチウオ	466	22		→
		6	イサキ	172	29	大主体	↘↘
	延縄	47	ハモ	7,292	155		→
		54	タチウオ	1,194	22	特大主体	↘↘
		32	サワラ	474	15		↘↘
		17	マサバ	107	6	大主体	→
	小型定置網	13	マアジ	519	40	小小主体	→
		13	アイゴ	380	29		↗↗
		12	イサキ	230	19	大主体	↘↘
		15	カンパチ	225	15		→
		10	ブリ	180	18	はまち・めじろ級	↘
		16	マダイ	135	8		↗
	底びき網	48	ハモ	10,592	221		↗
		27	マダイ	230	9	大主体	↗
		30	えそ類	173	6		→
5		カンパチ	108	22		↗↗	
海部沿岸							
	釣り	12	タチウオ	672	56		↘
	延縄	5	アカムツ	167	33		↘↘

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘